第5章 実践ワーク+使用プロンプト一覧

テーマ: AI と対話しながら、文章の"質"を圧倒的に高める!

文章の質を決める3つの視点

読みやすさ:一文が長すぎない、わかりやすい言葉

視覚的な整理:改行・見出し・箇条書きの工夫

読者にとって役立つ情報:実践的で共感される内容

適切なプロンプトが AI の出力を向上させる!

プロンプト例:

「この文章を 40 文字以内の短文に整えてください」 「初心者にもわかりやすい言葉に言い換えてください」 「情報を整理し、読みやすいリズムで表現してください」

AI で「読みやすく、わかりやすい文章」に!

- ★ 特に意識する4つの視点をプロンプトに活かそう。
 - 「一文を短くして」
 - 「難しい言葉をやさしく言い換えて」
 - 「話し言葉に近づけて」
 - 「漢字を減らしてひらがなを増やして」

視覚的に読みやすいレイアウトに整える

□ プロンプト例:

「この文章に、適切な改行・見出し・箇条書きを入れて、視覚的に整理してください」 「この文章を、 箇条書きと太字を使って、情報をスッキリ伝える形にしてください」

- - 「3~4 行ごとに、区切りがいいところで改行を入れて」
 - 「H2•H3 見出しで情報整理して」
 - 「箇条書きで要点を明確にして」

読者が求める価値ある情報を AI で導く

□ AI 活用の 4 ステップ:

ターゲット層を特定する

□ 「この記事を読む読者は、どんな悩みを抱えていますか?」

読者の悩み・関心をリサーチする

₩例「40代男性が健康で悩んでいることを5つ教えてください」

記事構成を考える

□ 「以下の悩みに沿って、構成を3パートに分けて提案してください」

価値ある情報を反映する

- □ 「この文章に、実用的な情報や事例を追加してください」
- □ 「初心者にも理解しやすいトーンに整えてください」
- - 読者の悩みを深掘りする
 - トレンドを分析する
 - 競合と差別化する(体験談や独自視点)

対話的なプロンプト例:

「このテーマ、最近のトレンドに合わせるなら、どういう切り口がいい?」 「他の人と差別化するには、どんなエピソードを入れたらいい?」

▲ WORK:5 ステップで高品質な文章をつくる

STEP 1:アイデア出し

誰に向けて、どんなテーマで書くかを明確にする

₩ プロンプト例:

「副業に興味がある初心者に向けた記事を書くとしたら、読者が気になるポイントを 5 つ提案してください」

STEP 2:初稿作成

構成とドラフトを AI と一緒に作り(4 章参照)見出しごとに内容を深める

◯ プロンプト例:

「副業を始める前に準備すべきこと、という見出しの内容を、初心者向けにわかりや すく説明してください」

STEP 3:推敲(ブラッシュアップ)

表現やリズム、トーンを整える

₩ プロンプト例:

「この文章を、40 文字以内で読みやすくリライトしてください」 「初心者にも分かりやすい文章のトーンに整えてください」

STEP 4: デザイン調整(見た目の整え)

改行や箇条書き、太字など視覚的に整える

◯ プロンプト例:

「この文章に、適切な改行・見出し・箇条書きを入れて、スマホでも読みやすく整えてください」

STEP 5:最終校正(仕上げ)

誤字脱字・論理性・表現の自然さをチェック

プロンプト例:

「この記事全体を通して読んで、誤字脱字や表現の不自然さをチェックしてください」 「この文章が論理的に一貫しているか確認し、必要なら改善案を出してください」

表現を磨き上げるための AI との対話

「この部分を、もっと感情が伝わるように修正してください」

「この内容を、より説得力のある論理的な文章にしてください」

「初心者向けに、もっとわかりやすく言い換えてください」

「この比喩を、もっと美しく、印象に残る形にしてください」

「この一文を、詩的に、余韻が残るように変えてください」

「この段落を、もっとリズミカルで、心地よく読めるように整えてください」

「この表現、もう少しストーリー性を強めたい」

「ここ、優しい言葉にしてください」

「この一文、もっとドラマティックにしてください」

「この段落、初心者でも分かるようにしてください」

★ 仕上げの4プロセス:

- AI と第一稿をつくる
- フィードバックを重ねる
- 自分の言葉で仕上げる

• 最後にもう一度 AI と整える

- AI は"答え"ではなく"最高の相棒"
- AI との対話と推敲で、あなたの言葉が磨かれていく
- あなたの感性 × AI の構成・整理力 = 唯一無二の文章が完成!
- AI 対話を重ね続けることで「あなた史上最高の文章」に到達!